

令和6年度病害虫防除技術情報 第12号

令和6年8月15日
三重県病害虫防除所

**ハスモンヨトウが増加しています。
特にダイズでは初期防除に努めてください。**

1 対象作物：ダイズ、ネギ、イチゴ、アブラナ科野菜

2 対象病害虫名：ハスモンヨトウ

3 発生状況と今後の予測

- (1) 県予察圃（松阪市嬉野川北町）におけるフェロモントラップ誘殺数（7月第3半旬～8月第2半旬）は527頭（平年466.0頭）とやや多い状況です（図1）。
- (2) ダイズの巡回調査（8月第1～2週）では、白変葉の発生か所数は0.51か所/a（平年0.56か所/a）と平年並ですが、幼虫による葉の食害が目立つ圃場があります（写真1、写真2）。
- (3) 8月中旬に入ってからダイズの白変葉や卵塊が増え始めている圃場を確認しています（写真3）。
- (4) 名古屋地方気象台の発表によると、8月10日から1か月程度は気温が高い見込みで、ハスモンヨトウの活動に好適な条件が続くことが予想されます。
- (5) ハスモンヨトウの発生量は例年10月頃にピークをむかえますが、近年は特に高温で多発傾向にあり、本年秋のピークも大きくなることが見込まれます（図2）。

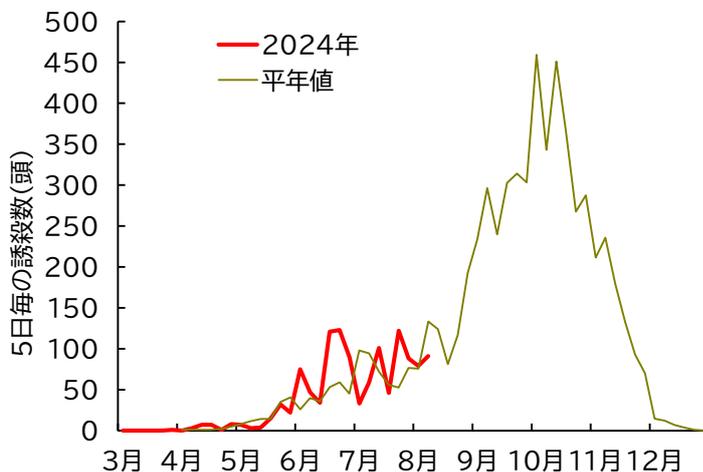


図1 ハスモンヨトウ雄成虫の誘殺消長(松阪市)



写真1 若齢幼虫

(令和6年8月9日伊賀市)

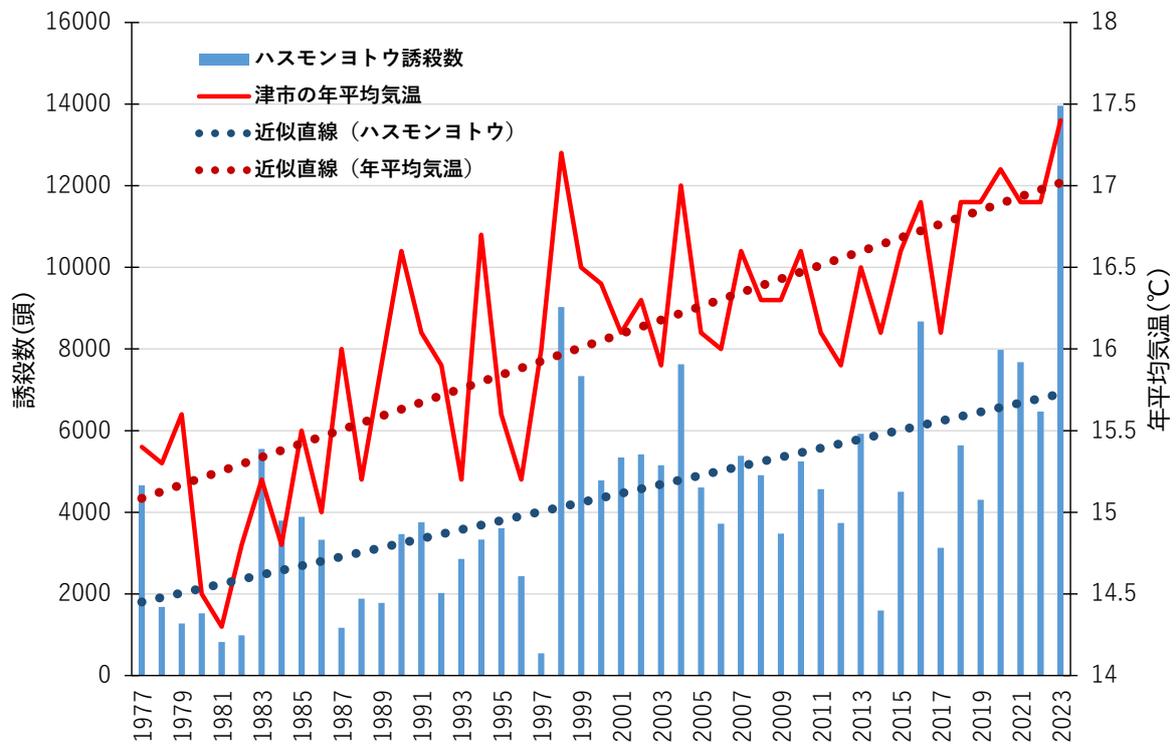


図2 ハスモンヨトウのフェロモントラップ誘殺数(4-12月計)の推移(松阪市)



写真2 中齢幼虫
(令和 6 年 8 月 15 日松阪市)



写真3 ダイズ葉裏の卵塊
(令和 6 年 8 月 15 日松阪市)



写真4 白変葉の多発(令和 5 年 10 月松阪市)

4 防除対策

- (1) こまめに圃場を見回り、薄茶色の毛で覆われた卵塊や白変葉を目印にして若齢幼虫が分散する前に捕殺してください（写真1～4）。
- (2) 幼虫が大きくなると薬剤の効果が低下するので若齢のうちに（圃場で白変葉が散見され始めたら）防除してください（写真1、写真4）。
- (3) 薬剤抵抗性回避のため、異なる作用機構の薬剤をローテーション散布してください。
- (4) ハスモンヨトウのフェロモントラップ誘殺状況は、以下の野菜の病害虫のページにて随時更新しています。

(<https://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39619007432.htm>)

- (5) 防除薬剤は三重県農薬情報システムで検索することができます。

(<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>)

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。
